

U.S. Indicators

発表日: 2022 年 9 月 30 日(金)

米国生産活動は鈍化も拡大持続(8 月鉱工業生産)

～製造業生産の基調はサプライチェーンの混乱により一時的に縮小～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

22 年 8 月の鉱工業生産は、前月比▲0.2%（7 月同+0.5%）と市場予想の 0.0%を下回った（22 年 3 月－22 年 7 月合計 0.1% p 下方修正）。原油価格の下落を背景に鉱業が前月比 0.0%（7 月同+1.0%）と鈍化したほか、供給懸念を受けた節電の影響等により公益が前月比▲2.3%（同▲1.2%）と縮小幅を拡大した。また、製造業が前月比+0.1%（7 月同+0.6%）と市場予想の同▲0.1%に反して増加したものの、22 年 3 月－22 年 7 月合計で 0.3% p 下方修正されており、実態は予想より弱い。製造業は、ハイテク関連がプラスを維持したものの、部品不足の影響で自動車など多くの業種が減少し、全体で大幅な鈍化となった。

製造業の業種別の動向をみると、前月比で拡大した業種は、拡大幅の大きい順に、石油・石炭製品（+3.5%）、航空宇宙・その他輸送機器幅（+2.1%）、その他耐久財（+1.7%）、コンピューター・電子（+1.3%）、一般機械（+1.0%）、紙パ（+0.8%）、化学（+0.3%）、プラスチック・ゴム（+0.1%）の 8 業種と 7 月の 12 業種から減少した。一方、前月比で縮小した業種は、縮小幅の大きい順に、家具・同関連製品（▲2.1%）、木材製品（▲1.7%）、自動車・同部品（▲1.4%）、繊維（▲1.2%）、電気設備・機器・同部品（▲1.0%）、食品・飲料・タバコ（▲0.9%）、加工金属（▲0.9%）、アパレル・皮革（▲0.5%）、一次金属（▲0.4%）、印刷・同サポート（▲0.3%）、非鉄（▲0.1%）、その他製造業（▲0.1%）の 12 業種と 7 月の 7 業種から増加した。前年比では、アパレル・皮革、一次金属、家具・同関連製品の 3 業種の縮小にとどまった。

8 月の設備稼働率は、生産能力の拡大が続くもと生産の減少によって鉱工業が 80.0%（前月 80.2%）と低下した一方、製造業は生産の拡大により 79.6%（前月 79.6%）と変わらずとなった。

生産活動の基調をみると、3 ヶ月移動平均・3 ヶ月前対比年率では、8 月の鉱工業生産が+1.8%（前月+3.1%）と減速し、拡大モメンタムが弱まった。主な要因として、製造業生産が上海ロックダウンの影響で 5、6 月に落ち込んだため▲0.9%（前月▲0.1%）とマイナス幅を拡大したことが挙げられる。また、四半期では 7、8 月平均の鉱工業生産が前期比年率+1.6%と 4－6 月期の前期比年率+5.3%から減速し 9 四半期ぶりの低い伸びとなった。製造業生産が 7、8 月に前期比年率+0.7%（4－6 月期前期比年率+3.6%）と減速し、全体を押し下げた。

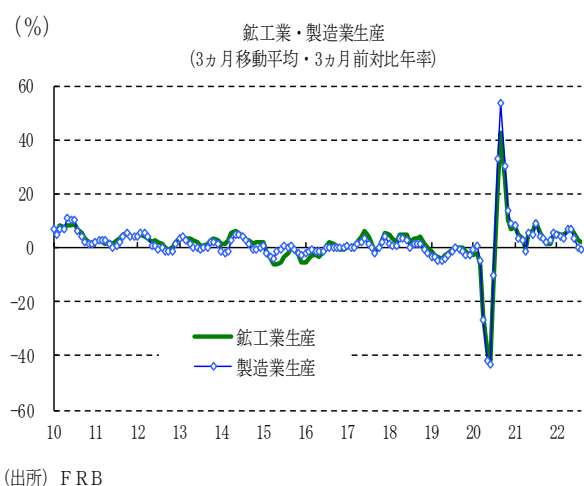
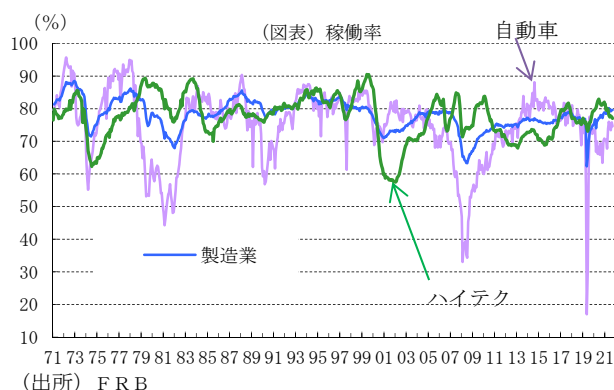
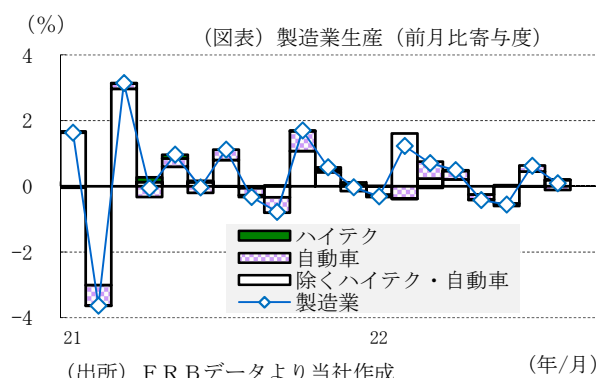
22 年の製造業生産は、国内需要の拡大、在庫不足等を背景に、拡大モメンタムを維持すると予想される。ただし、世界的なデジタル化の動きのほか、スマートフォン、PC などハイテク機器、自動車などの需要拡大による半導体不足の継続、ウクライナ危機に関連したコスト増加、金融引締めによる世界経済の減速によって、製造業生産は鈍化傾向を辿る公算が大きい。

22 年の鉱工業生産は、製造業が前年比+3.6%と 21 年の同+5.7%から鈍化する一方、鉱業が前年比+8.0%（21 年同+3.2%）と好調さを維持することで、前年比+4.1%と 21 年の+4.9%から小幅の鈍

化にとどまると予想される。

鉱工業生産											
鉱工業生産			製造業 (NAICS)			鉱業			設備稼働率		
									全産業	製造業 (SIC)	生産能力
21/08	▲0.0	(+4.9)	▲0.2	▲0.0	+1.6	+0.4	▲0.2	▲2.1	+78.2	+77.7	▲0.0
21/09	▲1.0	(+3.9)	▲0.7	▲1.6	▲1.8	+1.1	▲0.8	▲6.7	+77.4	+77.1	+0.0
21/10	+1.5	(+4.7)	+1.7	+3.7	▲2.8	+1.5	+1.6	+10.3	+78.6	+78.3	+0.1
21/11	+0.6	(+5.0)	+0.5	+0.3	+1.4	+1.2	+0.5	+1.1	+79.0	+78.7	+0.1
21/12	▲0.2	(+3.7)	▲0.1	+0.1	▲1.4	+0.1	▲0.0	▲0.8	+78.7	+78.6	+0.1
22/01	+0.4	(+2.9)	▲0.3	▲1.1	+7.9	▲1.3	▲0.2	+0.4	+78.9	+78.3	+0.1
22/02	+0.7	(+6.9)	+1.2	▲0.5	▲0.8	+1.6	+1.1	▲3.8	+79.4	+79.2	+0.1
22/03	+0.7	(+4.8)	+0.7	+3.1	▲4.1	+0.6	+0.6	+9.0	+79.8	+79.8	+0.1
22/04	+0.7	(+5.3)	+0.4	+0.1	+3.6	▲1.4	+0.5	+2.9	+80.2	+80.0	+0.2
22/05	▲0.1	(+4.4)	▲0.4	+1.1	+0.2	+0.2	▲0.4	▲2.0	+80.0	+79.7	+0.2
22/06	▲0.0	(+4.0)	▲0.5	+1.9	+0.3	+1.3	▲0.6	▲1.3	+79.9	+79.2	+0.2
22/07	+0.5	(+3.8)	+0.6	+1.0	▲1.2	+0.5	+0.8	+3.2	+80.2	+79.6	+0.1
22/08	▲0.2	(+3.7)	+0.1	+0.0	▲2.3	+0.3	▲0.1	▲1.4	+80.0	+79.6	+0.1

(注)カッコ内は前年比



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。